

大学院同窓会からのお知らせ

JUEN 09
Joetsu University
of Education,
Network

長野県支部

上越教育大学大学院同窓会
小布施町立栗ヶ丘小学校長 吉越 真一
(教育方法 7回生)



長野県在住の上越教育大学大学院の修了生は353名を数えます。上越教育大学が創立30周年を迎えることもあり、長野県にも同窓会を作ろうという声があがりました。そこで、教育方法コース高田研究室でお世話になり、修了後

も親交のあった後藤昭彦先生、會田義昭先生と連絡を取り合い、同窓会事務局長中村雅彦教授、上越教育大学学務部長、就職支援室長のご支援をいただきながら準備を進めてまいりました。

そして年が明けた本年1月13日、ホテル信濃路を会場に、上越教育大学大学院長野県支部第一回同窓会を開催することができます。開催通知の発送が遅くなってしまったり、住所が違っていて戻ってきてしまったハガキがあつたりと、同窓生の皆さんにはご迷惑をお掛けしました。この紙面を借りてお詫び申し上げます。

はじめに総会が行われ、同窓会発足の経過報告、会則の承認、役員選出が滞りなく行われました。会長には小布施町立栗ヶ丘小学校校長吉越真一先生(7回生/教育方法)、副会長に須坂市立小山小学校教頭後藤昭彦先生(8回生/教育方法)、事務局として、竹

内淳先生(11回生/理科)、會田義昭先生(14回生/教育方法)、木原弘和先生(15回生/教育方法)、橋祐三先生(16回生/教育方法)、井出(14回生/教育方法)が選出されました。

記念講演は、上越教育大学理事・副学長である高田喜久司先生

をお招きし、前半は上越教育大学の現在の様子についてお話しした

だき、後半は「人間力」の育成と授業活性化への基本的観点」というテーマでご講演をいただきました。

新しい義務教育の姿、「人間力」をどうとらえるか、授業活性化への基本的視点という三つの

内容でお話があり、「雨もりにザルをもつてくる子ども(教師)」に

というお話を締めくくられました。

高田先生のお話を聞きながら、あの頃を懐かしく思い出した同窓生も多くいたようです。

第二部の懇親会は、高田先生を囲み、旧交を温めたり情報交換をしたりと、和やかな雰囲気の中で会が進められました。この同窓会

というお話を締めくくられました。

高田先生のお話を聞きながら、あの頃を懐かしく思い出した同窓生も多くいたようです。

第二部の懇親会は、高田先生を

囲み、旧交を温めたり情報交換を

したりと、和やかな雰囲気の中で

会が進められました。この同窓会

というお話を締めくくられました。

高田先生のお話を聞きながら、あの頃を懐